

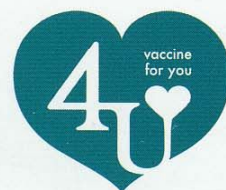
子宮頸がん予防ワクチンは選べる時代へ

# 若い女性に増えている 女性特有のがんを知っていますか。

—— 子宮頸がんや尖圭コンジローマなどは予防する方法があります ——



監修：  
社会保険相模野病院 婦人科腫瘍センター長  
北里大学医学部産婦人科客員教授  
上坊敏子 先生



もっとあなたのために  
ワクチン・フォー・ユー



①



②



いま、気付いてほしい。

早めに、はじめてほしい。

カラダを守るための“子宮頸<sup>けい</sup>がん”予防。





まだ多くの人が知らない「子宮頸がん」。

遺伝とは関係なく、女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。

最近では若い女性に急増していて、

深刻な問題となっています。

でも、子宮頸がん検診とワクチンの接種で予防できるようになりました。

さあ、大切な子宮を、カラダを守るために

いま、できることをはじめてみませんか。



④

私の年齢でも、

子宮頸<sup>けい</sup>がんって関係あるんですか？



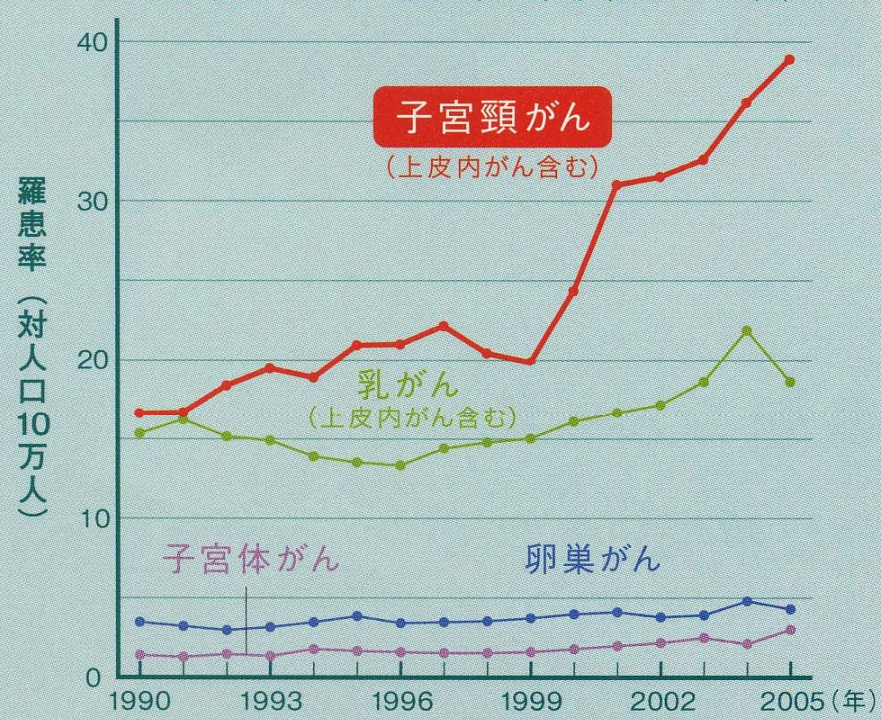
# 20～30代の若い女性に、 子宮頸がんが増えています。

子宮頸がんは女性特有のがんとしては、乳がん  
次いで罹患率が高く、特に**20～30代のがんでは**  
**第1位**となっています。日本では、毎年約10,000人\*  
1もの女性が新たに子宮頸がんにかかり、約3,500  
人が子宮頸がん で亡くなっています。これは、1日  
に約10人の方が亡くなっている計算になります。

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン接種の普及に関するステートメント  
[http://www.jsog.or.jp/statement/pdf/HPV\\_20091016.pdf](http://www.jsog.or.jp/statement/pdf/HPV_20091016.pdf)



女性特有のがん：罹患率の推移(20～30代)



国立がん研究センターがん対策情報センター 地域がん登録  
全国推計によるがん罹患データ(1975年～2005年)より作図

\*1:上皮内がんを含むと年間約16,000人という報告もあります。  
国立がんセンターがん対策情報センター 部位別がん罹患数2004年



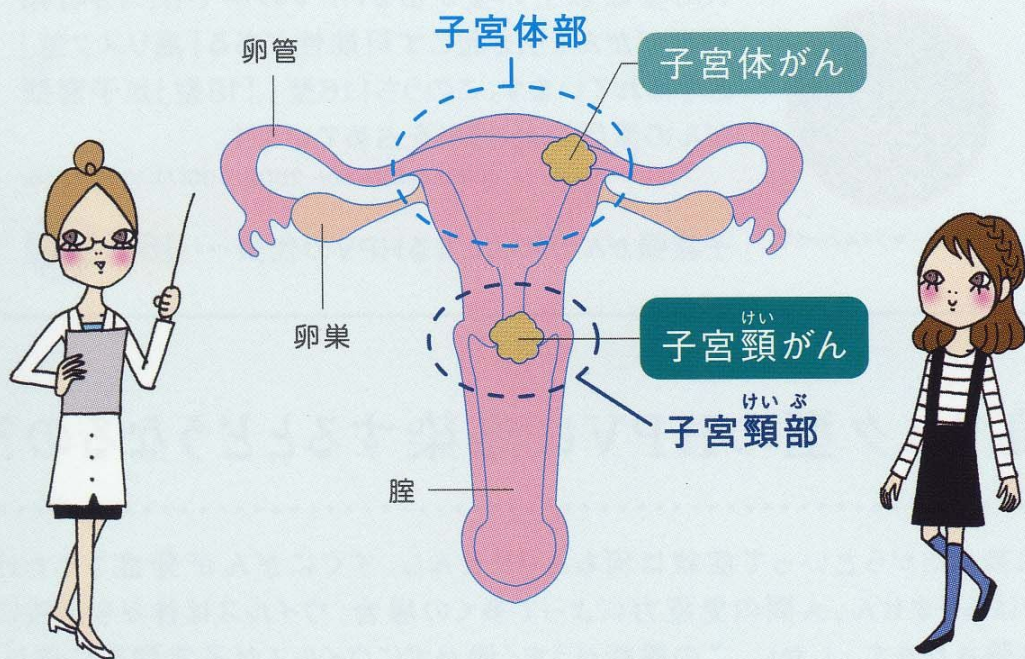
6

子宮頸<sup>けい</sup>がんって、  
どんな病気ですか？



# 「子宮頸がん」は、 子宮の入り口部分(頸部)にできるがんです。

子宮がんには子宮の奥で発生する「子宮体がん」と子宮の入り口で発生する「子宮頸がん」の2種類があります。これら2つは病気になる原因も、主な発症年齢などもまったく異なります。



	子宮頸がん	子宮体がん
発生部位	子宮頸部 (子宮の入り口)	子宮体部 (胎児が育つ部分)
主な発症年齢	30~40代 (20~30代で急増)	閉経後の50代以降
主な原因	ヒトパピローマウイルス (HPV*1)感染	エストロゲンという 女性ホルモン

\*1:Human Papillomavirus

医療情報科学研究所 編:病気がみえる Vol.9 婦人科・乳腺外科  
第2版 メディックメディア:137, 2010.より改変



# 子宮頸<sup>けい</sup>がんの原因は？

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染が原因で起こることが知られています。HPVはとでもありふれたウイルスで、性交渉の経験がある女性の80%以上が、50歳までに感染を経験するといわれています。特に若い年代の感染率は非常に高いといわれています。



ヒトパピローマウイルス(HPV)

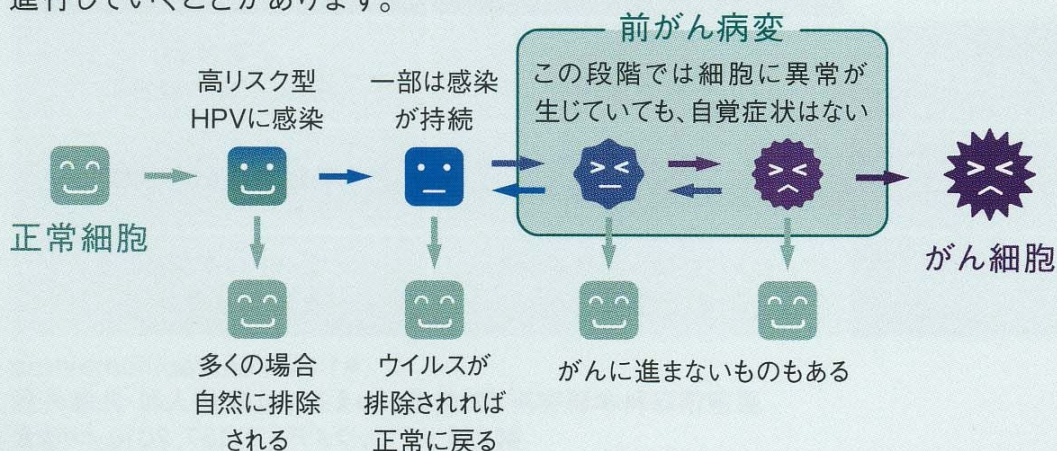
100種類以上の型があるHPVの中でも、15種類程度ががんを引き起こす可能性がある「高リスク型」と呼ばれています。このうち「16型」、「18型」が子宮頸<sup>けい</sup>がんの原因の約65%を占めています。

Onuki M, et al: *Cancer Sci.* 2009; 100(7):1312-1316.

子宮頸<sup>けい</sup>がんの原因となるHPVの代表・・・ 16型 18型

## 高リスク型のHPVに感染するとどうなるの？

感染したからといって症状は何もありませんし、すぐにがんが発症するわけではありません。人間の免疫力によって多くの場合、ウイルスは体から自然に排除されます。しかし、この機能がうまく働かずにウイルスが子宮頸部に残り、長い間感染が続いた場合に、その部分の細胞が5年以上かけてがん細胞へと進行していくことがあります。





# 子宮頸<sup>けい</sup>がんの症状は？

初期には症状がほとんど現れないところが、子宮頸がんのおそろしいところ  
です。気付いたときにはすでに進行していた、というケースも少なくありません。

## 病気が進行してから現れる症状

性交渉のときに出血する

生理に関係のない出血がある

茶色のおりものが増える、  
悪臭を伴う

下腹部や腰が痛む

子宮頸<sup>けい</sup>がんの発見が早ければ、  
子宮の摘出手術などをせずに、子宮を守ることもできます。

## 子宮頸<sup>けい</sup>がんの進行

**0期**  
子宮頸部の  
上皮内にがん細胞がと  
どまっている

**I期**  
がん細胞が  
子宮頸部の  
みにある

**II期**  
がん細胞が  
子宮頸部を  
超えて、周囲  
に広がって  
いる

**III期**  
がん細胞が  
子宮頸部を  
超えて、骨盤  
壁や膣の下部まで達し  
ている

**IV期**  
がん細胞が  
子宮を超え  
て、膀胱や  
直腸まで広  
がっている

この時期に発見できれば、子宮を温存する治療が  
でき、治療後の妊娠や出産も可能です。



HPVというウイルスが原因となるのは  
子宮頸<sup>けい</sup>がんだけですか？

10



# HPVは子宮頸<sup>けい</sup>がん以外の 病気を引き起こすことがあります。

## がい いんじょう ひ ない しゅ よう 外陰上皮内腫瘍

発症に関するHPV



外陰上皮内腫瘍は、外陰がん<sup>がい いんがん</sup>に先行して見られる場合がある腫瘍で、HPV感染が原因となっているのは半数程度です。外陰がんは女性性器の外陰部に発生するがん<sup>がい いんがん</sup>で、婦人科のがんの約3%を占めます。

## ちつじょう ひ ない しゅ よう 膣上皮内腫瘍

発症に関するHPV



膣上皮内腫瘍は膣がん<sup>ちつがん</sup>へ進行する可能性がある腫瘍で、HPV感染が主な原因です。膣がんは、女性性器の膣にできるがん<sup>ちつがん</sup>で、女性性器がんの約1%を占めます。

## せん けい 尖圭コンジローマ

発症に関するHPV



直径1~3ミリ前後の良性のイボが性器や肛門のまわりにできる病気です。痛みやかゆみがほとんどなく、さまざまな形状のイボができます。大きくなるとカリフラワーやニワトリのトサカのような状態になることもあります。再発しやすく完治は難しいといわれています。



妊娠中の尖圭コンジローマが母子感染を起こすと、子どもが再発性呼吸器乳頭腫症(RRP)になることがあります。妊娠している女性が尖圭コンジローマを発症していると、出産するときに産道で赤ちゃんにHPVが感染してしまう可能性があります。生まれて来た赤ちゃんがHPVに感染した場合、ごくまれですがのどにイボができる再発性呼吸器乳頭腫症(RRP)を発症してしまうことがあります。この場合、声がかれたり、イボが大きくなることで呼吸困難になり、命にかかわることもあります。イボを取り除くため、10回、20回と手術を繰り返すこともあります。膣内にコンジローマが多発している場合や非常に大きなコンジローマでは帝王切開が必要になることがあります。





子宮頸<sup>けい</sup>がんにならないためには  
どうすればいいのですか？





# ワクチンによる予防接種と定期的な検診で 子宮頸がんを予防しましょう。

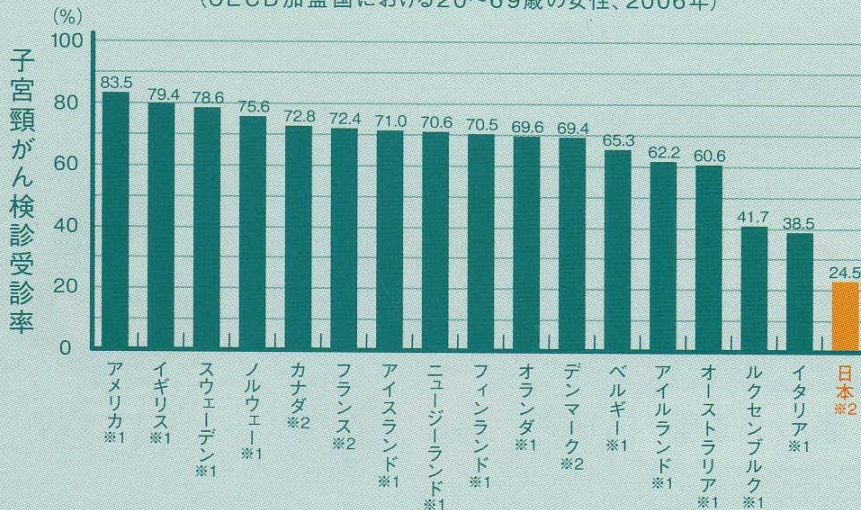
子宮頸がんは、ワクチンの接種によってHPVの感染から体を守ることで予防できます。しかし、ワクチンを接種したからといって100%予防できるわけではありません。早期発見のためにワクチン接種とあわせて、定期的な子宮頸がん検診も重要です。



## 日本は、子宮頸がんの 定期検診受診率がとても低い状況です。

世界各国では、子宮頸がん予防への意識が高く、アメリカやイギリスでは約80%の女性が定期的に検診を受けています。今や先進国では“子宮頸がん検診を受けることは、女性として当たり前のこと”になっています。

世界各国の子宮頸がん検診受診率  
(OECD加盟国における20~69歳の女性、2006年)



※1 Programme data.

※2 Survey data. Health Care Quality Indicators Project, OECD 2009. OECD Health Data 2009 (cervical screening)

- 注)・ワクチンの接種によって、すでに生じた病変の進行予防効果は期待できません。
- ・ワクチン有効性が示されている期間は限定されています。
- 追加接種の要否について明確な判断基準などは設定されていません。



# 子宮頸<sup>けい</sup>がん予防ワクチンは 2種類あります。

現在、日本で接種できる子宮頸がんの予防ワクチンは2種類あります。1つは、HPVの16型と18型の2つの型に対して感染予防効果を持つものです。もう1つは、HPVの16型と18型に加えて尖圭コンジローマの原因となる6型、11型と4つの型に対して感染予防効果を持つものです。ワクチンはそれぞれが予防できる型以外のHPVには予防効果を期待できません。

## ワクチンA

高リスク型

HPV 16型 18型



## ワクチンB

高リスク型

HPV 16型 18型

+

低リスク型

HPV 6型 11型



十分な予防効果を得るため、必ず同じ種類の  
ワクチンを3回接種することが必要です。

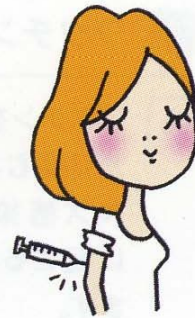
子宮頸<sup>けい</sup>がん予防ワクチンは、お医者さんと選んでください。



## 子宮頸<sup>けい</sup>がん予防ワクチンのQ&A

**Q** 子宮頸<sup>けい</sup>がん予防ワクチンは複数回接種するのですか？

**A** 子宮頸<sup>けい</sup>がん予防ワクチンは、半年間に3回接種することにより十分な予防効果が得られるワクチンです。接種は初回、1～2ヵ月後、6ヵ月後と3回接種します。必ず同じ種類のワクチンを、3回接種してください。



**Q** すでに性交渉の経験があると、予防接種は意味がないのでしょうか？

**A** HPV未感染であれば、ワクチンに含まれるすべての型に対する有効性が期待できます。HPVに感染している可能性があっても、現在感染していない型への有効性や再感染の予防効果が期待できます。ただし、すでに持続感染しているHPVを排除するものではありません。



**Q** 子宮頸<sup>けい</sup>がん予防ワクチンを接種したいのですが、現在妊娠しています。接種できますか？

**A** 妊娠中は子宮頸<sup>けい</sup>がん予防ワクチンを接種することはできません。妊娠中、または妊娠している可能性がある場合は医師に相談してください。





## 子宮頸<sup>けい</sup>がん予防ワクチンのQ&A

**Q** ワクチンの副反応が心配です。

**A** ワクチンを接種した後に、注射した部位が腫れたり痛むことがあります。これは、体の中でウイルス感染を防御する仕組みが働いているために起こる症状で、通常は数日間程度で治まります。



### 【主な副反応】

頻度10%以上

注射部位の痛み・赤み・腫れ

頻度1～10%未満

発熱、注射部位のかゆみ・出血・不快感、頭痛

頻度1%未満

注射部位のしこり、手足の痛み、筋肉が硬くなる、下痢、腹痛、白血球数増加

頻度不明

無力症、寒気、疲労、倦怠感、血腫、失神、浮動性めまい、関節痛、筋肉痛、おう吐、吐き気、リンパ節症、蜂巣炎

重い副反応として、まれに、アナフィラキシー反応などの過敏症反応、ギラン・バレー症候群、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎などが現れることがあります。



# 子宮頸<sup>けい</sup>がんについて詳しく紹介した ホームページがあります。



子宮頸がんの予防ワクチンを接種したいと思っても、実際にどうすればいいか、不安なことが多いと思います。「もっと守ろう.jp」では、子宮頸がんについての詳しい解説から、医療機関で予防ワクチンを接種するための具体的な方法まで詳しく紹介しています。

**もっと守ろう.jp**  
<http://motto-mamorou.jp/>





もし今、ワクチンを受けてみようと思ったなら、

まずは医療機関へ相談することから

始めてみませんか。

自分の体をきちんと守っていききたいという

強い気持ちで踏み出した

その一歩が、

あなたの未来の笑顔につながっていることを

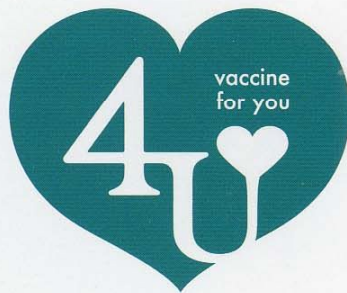
忘れないでください。







18



もっとあなたのために  
ワクチン・フォー・ユー



2011年6月  
04-12-GRD-11-J-F01-PA